

令和8年2月27日

## 東日本大震災以降の環境放射線モニタリング情報サイト (福島関連データベース) (RAMDAS) の改修

原子力規制委員会は、平成23年3月11日に発生した東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故以降の環境放射線モニタリング結果を東日本大震災以降の環境放射線モニタリング情報サイト(福島関連データベース)(RAMDAS<sup>1</sup>)で公開しています。このサイトでは、空間線量率、大気浮遊じん、土壌、降下物、海水、海底土などの環境放射線モニタリング結果及びその活用に必要な各種の付帯情報の集約・蓄積を図り、信頼性があるデータベースの構築・公開を行っています。令和8年2月10日の第57回原子力規制委員会にて国際的なデータ共有への取組の一環としてRAMDASの改修について報告しているところ、このたび改修が完了し、3月10日に運用を開始します。本改修では、利用者の利便性向上、データ集約の強化及び効率的な情報提供を目的として機能の拡充を行いました。

### 1 利用者の利便性向上

現行システムにおいて文字情報で表示していた測定項目について、より直感的に理解できるよう、ピクトグラムを用いた視覚的表示へと改めました。これにより、必要な情報へのアクセス性が向上し、利用者の検索性を一層高めることが期待されます。

### 2 データ集約の強化

総合モニタリング計画に基づき5つの機関(原子力規制委員会、環境省、水産庁、福島県及び東京電力ホールディングス株式会社)が実施・公表している海域モニタリングデータを一元的に集約し、一つのサイト上で閲覧できるようにすることにより、情報提供の充実を図ります。

### 3 効率的な情報提供

新たにAPI<sup>2</sup>連携機能を導入し、IAEAからのリクエストに応じてデータを自動的に送信することが可能となりました。これにより、常に最新の情報を提供できる体制が整います。

別紙第1「環境放射線モニタリング情報サイト(RAMDAS)リニューアルについて」

別紙第2「環境放射線モニタリングの情報発信の全体像」

《担当》 原子力規制庁 放射線防護グループ 監視情報課  
担当：鈴木、畑田、友岡  
電話：03-3581-2100(代表)  
03-5114-2125(直通)

<sup>1</sup> RAMDAS (Environmental Radiation Monitoring Data Search Site about the Great East Japan Earthquake)

<sup>2</sup> API (Application Programming Interface) 異なるソフトウェアやアプリケーション間で機能やデータを共有するための仕組み。ソフトウェア同士の「窓口」や「インターフェイス」として働き連携を効率化する。

# 環境放射線モニタリング情報サイト (RAMDAS) リニューアルについて

東日本大震災以降の環境放射線モニタリング情報サイト

Enviromental Radiation Monitoring Data Search Site about the Great East Japan Earthquake

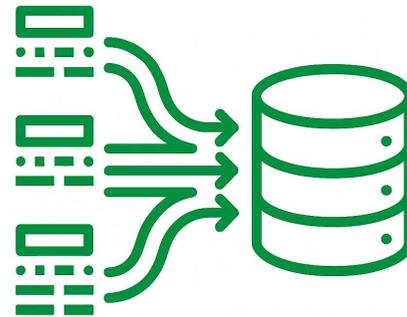
令和8年3月10日新システム公開

## リニューアルの概要



### 利用者の利便性向上

直感的な操作性の実現



### データ集約の強化

海域モニタリングデータの一元化



### 効率的な情報提供

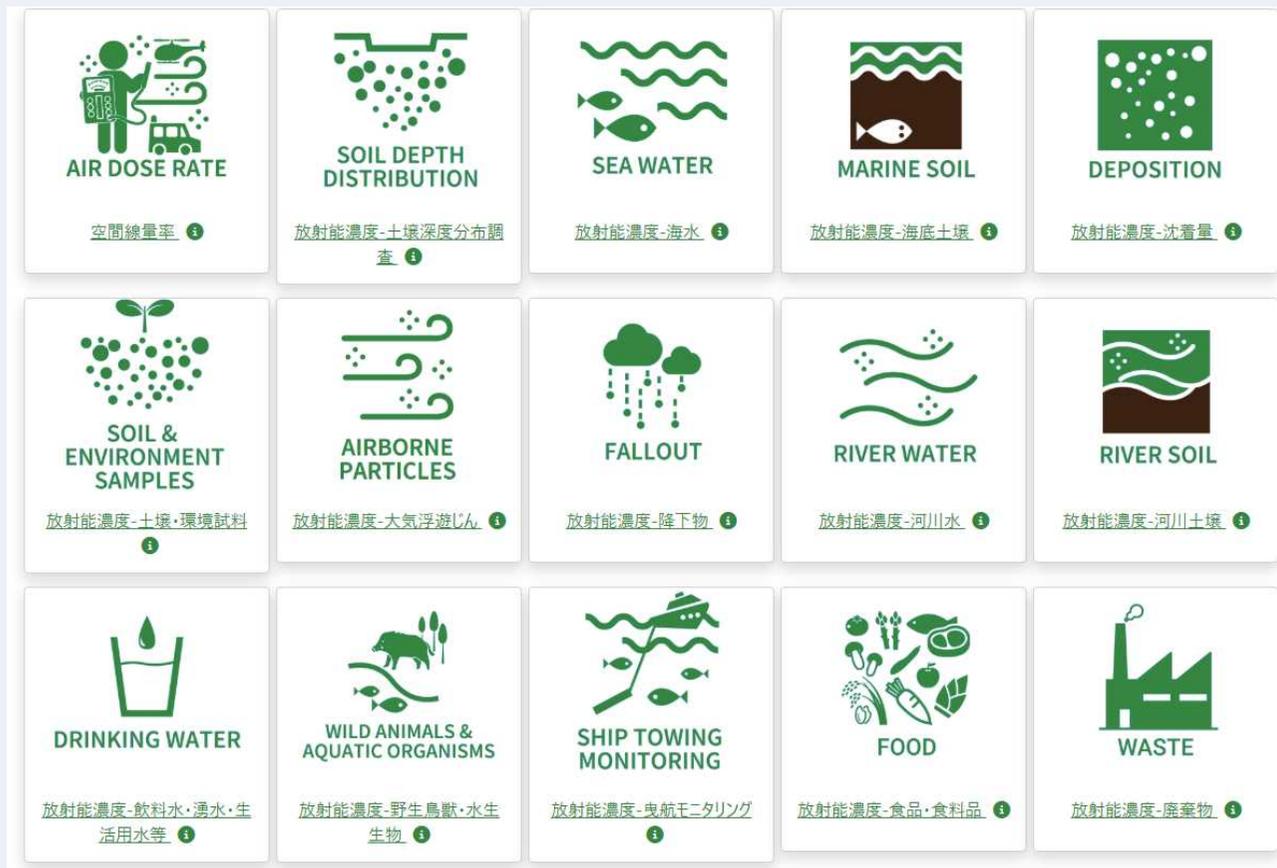
自動化による最新情報の提供

利用者の利便性を高め、データを一元化し、情報を迅速に届けるためのシステム刷新

# 特徴①利用者の利便性向上

## 直感的な操作性の実現

- ・従来の文字情報のみの表示から、ピクトグラム（視覚的アイコン）を用いた表示へ刷新
- ・「空間線量率」、「海水」などが一目で分かるユニバーサルなデザイン
- ・必要な情報へのアクセス性と検索性が向上

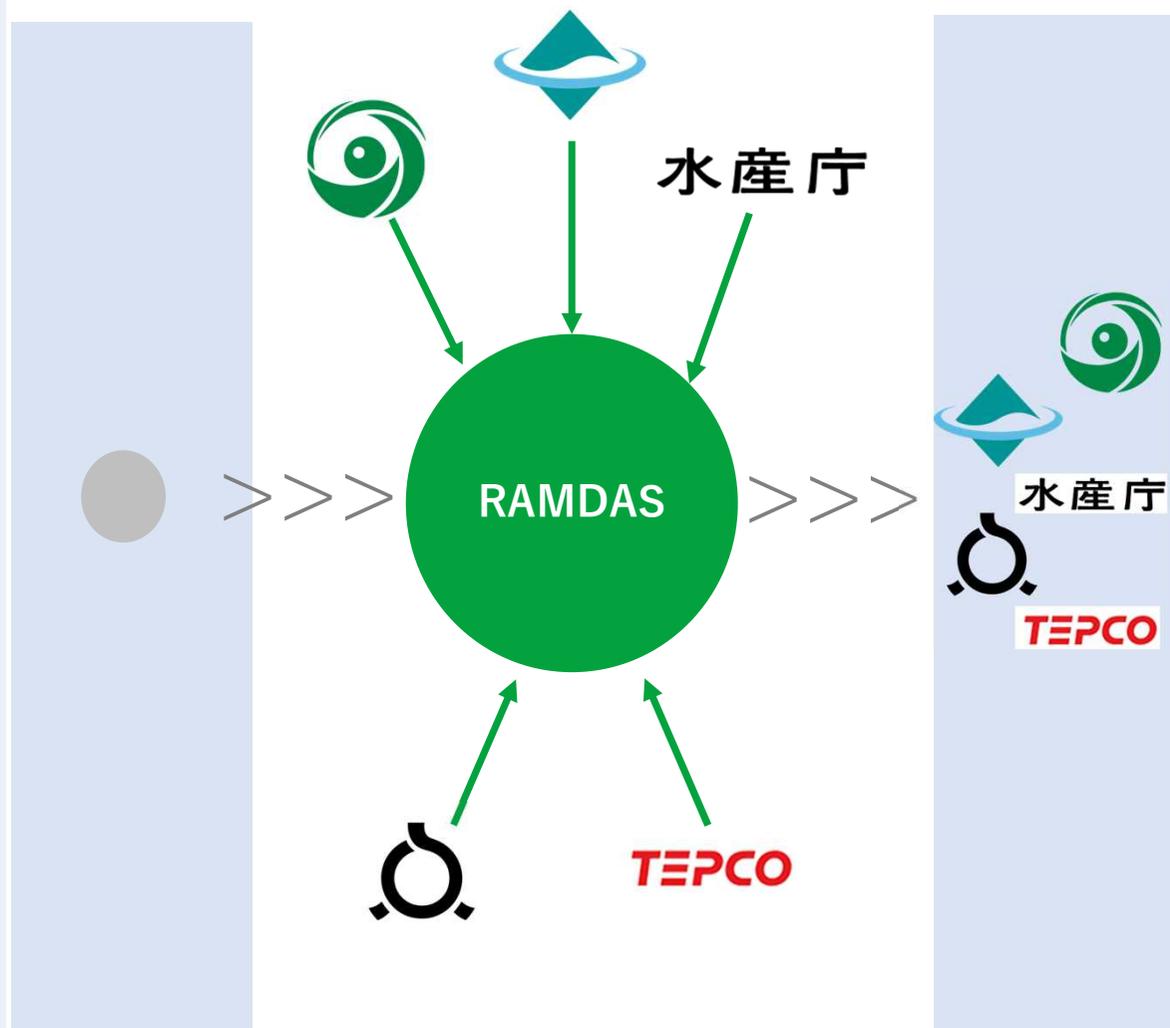


新システム画面イメージ

## 特徴② データ集約の強化

### 海域モニタリングデータの一元化

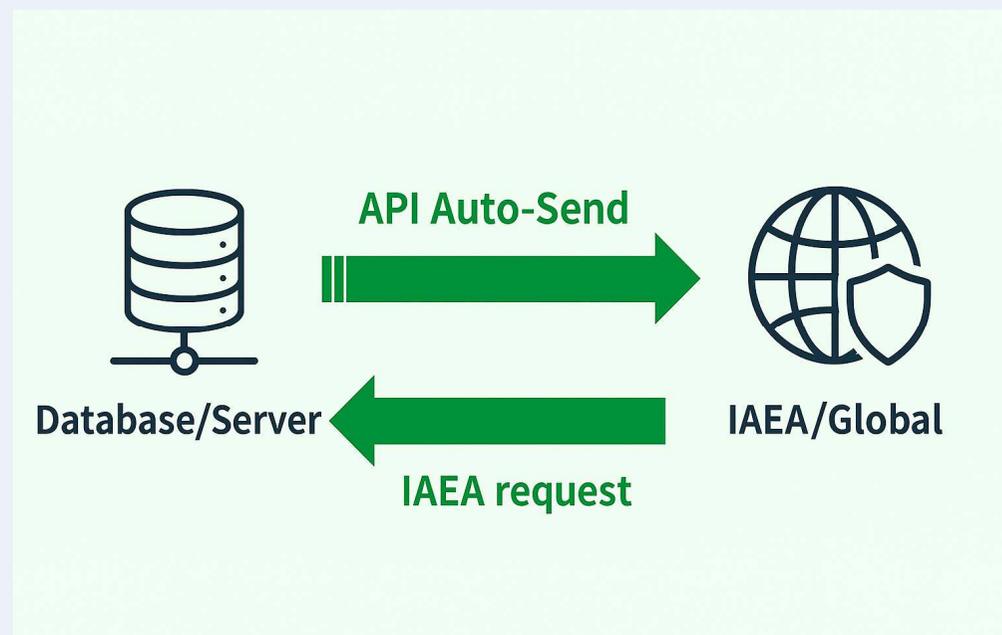
- ・ 総合モニタリング計画に基づく海域データを集約
- ・ 複数のサイトを巡回することなく、一つのサイト上で情報を閲覧可能に



## 特徴③ 効率的な情報公開

### 自動化による最新情報の提供

- API連携機能を新規導入
- 国際原子力機関（IAEA）とのデータ関係をリクエストに応じて自動送信
- 人手を介さず、常に最新のデータを提供できる体制を確立



## 本件に関するお問い合わせ

原子力規制庁長官官房 放射線防護グループ  
監視情報課

担当：鈴木、畑田、友岡

電話： 03-5114-2100 (代表)  
03-5114-2125 (直通)

# 環境放射線モニタリングの情報発信の全体像

環境放射線モニタリングの結果に関する、主要な情報発信ツールは下記のとおり



リアルタイム

## 放射線モニタリング情報共有・公表システム(RAMIS)

- 原子力災害発生時に緊急時モニタリング結果の集約、解析評価を行い、迅速な公表に資するシステム
- 平時においても、放射線の空間放射線量率をリアルタイムで公表

R8年3月6日  
新システムへ移行



※3月6日  
以降有効

データベース

## 環境放射能・放射線データベース(ENVRADDB)

- 原子力規制庁が関係省庁や47都道府県等の協力を得て実施した環境放射能調査等の結果を検索できるデータベース
- 情報の受け手（一般・専門家・親子で学ぶ等）に応じて分類した、環境放射能に関する用語や基礎知識などの情報も閲覧可能

R7年6月 データベースをリニューアル



## 福島関連データベース (RAMDAS)

- 東日本大震災以降、福島県を中心に実施された環境放射線モニタリング結果等を集約・蓄積したデータベース



R8年3月10日 新システムへ移行